

地域連携センターニュース

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

発行 地域連携センター
電話 042-558-0321(代表)
FAX 042-550-5190(直通)

ご挨拶

診療部内科医長 長澤 洋介

令和7年1月から当医療センターに勤務しております長澤洋介と申します。

私は日本大学を卒業し、日本大学医学部附属板橋病院において（初期臨床研修を含め）10年以上患者さんの診療を行ってきました。専門は膠原病で、

①関節リウマチや脊椎関節炎とその類縁疾患、

②全身性エリテマトーデスや多発性筋炎/皮膚筋炎、全身性強皮症、

シェーグレン症候群といった抗核抗体関連疾患、

③血管炎、

④その他（ベーチェット病や抗リン脂質抗体症候群、IgG4 関連疾患など）が含まれます。当医療センターでの現在の所属は内科になりますが、全身疾患である膠原病を専門にしながら患者さんの全身を診療することを目指しております。血液検査において抗核抗体やリウマチ因子が陽性の方、発熱や関節痛、レイノー現象、末梢循環不全、眼/口腔内乾燥症状といった膠原病を示唆する症状をお持ちの方だけでなく、原因のはっきりしない体調不良についても患者さんのお力になれるかもしれません。身体の不調や心配点について患者さんと相談しながら検査予定を立てていければと思います。皆様と連携/協力して患者さんの診療ができれば幸いです。

宜しく願い申し上げます。

西多摩歯科医師会 公立阿伎留医療センターとの病診連携研究会について

令和7年2月13日（木）に西多摩歯科医師会 公立阿伎留医療センターとの病診連携研究会が当院講堂で開催され、外部の先生方と院内関係者合わせて約30名ほどが参加されました。

コロナ禍で一時中断していましたが、地域医療担当理事である江藤歯科医院の好土連太郎先生の呼びかけにより、開催に至りました。

今回は「公立阿伎留医療センターにおける口腔ケアサポートチームの取り組みについて」をテーマに看護部より3名が講演を行いました。

今後も特に周術期等口腔ケア管理等について、地域歯科医師会の先生方にご協力いただき、紹介、逆紹介の推進とともに地域連携の強化を進めてきたいと思います。



武井院長挨拶
(後ろは好士先生)



歯科口腔外科・足立部長
(司会)



口腔ケアサポートチーム
野口・池田看護師

リニアック治療の再開について

公立阿伎留医療センターでは、約2年ぶりに放射線治療を再開することになりました。

日本の3大疾病は1位：悪性新生物（がん）2位：心疾患、3位：脳血管障害となっております。1位のがんは今後国民の約半数が何らかの「がん」にかかるといわれております。がんを治療するには、手術・放射線治療・化学療法があげられます。

そういった中で今回導入する装置は、最先端の放射線治療装置であり、多くの固形癌、緩和治療、血液癌などが治療対象となります。また転移がんなどは同時に5つ以内までは治療できる装置です。最先端の放射線治療を地域の皆様にお届けすることが可能です。

当院では「切らずに治す放射線治療」をコンセプトに積極的にがん治療を実践してまいりますので、宜しくお願い致します。

放射線治療外来：3月10日（月）～

治療開始：3月17日（月）～

週2回の非常勤医師の対応となります。

月曜日午前：陳医師

金曜日午後：山田医師



今年度は地域の連携をお招きしての説明会がスケジュール的に難しい状況になってしまい、大変申し訳ございません。令和7年度の早い時期に開催したいと思いますので、詳細が決まりましたらご案内申し上げます。